		専門学校	開講年度 平成30年度 (	2018年度)	授	業科目	中国語Ⅱ			
科目基礎	楚情報					T				
科目番号		0098		科目区分		一般/選				
受業形態		授業		単位の種別と単位	数	履修単位:	1			
開設学科		電気電	子工学科	対象学年	5					
開設期		後期		週時間数	2					
教科書/教	(材		できる中国語							
旦当教員		川西 笑	華,祖 建							
到達目標	票									
中国語で	日常的なこ	とがらを受信	言・発信するために必要な基本的文法事	頭を理解し, 平易な	は会話	の中で運用	できること.			
レーブリ	ノック									
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	ジレのE	 ]安	未到達レベルの目安			
評価項目	1		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(繰り返しや相槌、ジェスチャー、アイコンタクトなどのボディー、積極的にコミルながら、積極的にコミルでーションを図り、その応用ができる.	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち,実際の場面や目的に応じて,基本的なコミュニケーション方略(繰り返しや相槌・ジェスチャー,アイコンタクトなどのボディランゲージ)を適切に用いながら,積極的にコミュニケーションを図ることができる			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち,実際の場面、や目的に応じて,軽くないとコンカトで、というション方を、保りのことができないができながら、積極的にコミュンケーションを図ることができない。			
評価項目 :	2		日本語と特定の外国語の文章を読み,不である。他者と可以上の本語と特定の外国語の文章を読みができる。他者が正とコミュニケー日本語や特定の外国語の内容を把握し、日本語や特定の外国語で正日本語や特定の外国語で、会話の日標を理解してきる。	・ 日本の外に、 日本の外に、 日本のの外に、 日本のの一に、 日本のの一に、 日本のの一に、 日本のの一に、 日本のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	型を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	きる. 他者をといる かんしょう かいい しょう かい しょう かい はい	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できない。他者とコミュニケーションをとるために他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握し、文章を記述での外国語で正しい文章を記述できない。日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができない。			
平価項目:	3		それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や家事物信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明、解釈の適用ができる.	それぞれの国の文 を払い、その違い 容さが必要である生 がら、、価値観なと 信条、、価値観なと を自分たちの文化 明し、解釈できる	化や原化では、 化では、 できるというできる できる できる できる できる という	け入れる寛 を認識しな 貫や宗教的 k的な事象	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて訪明も、解釈もできない.			
学科の至 教育方法		頁目との 月	<b>图</b> 条							
既要		中国のス	I に引き続き,基本的文型と文法事項を 文化,社会事情を紹介することにより,	中国語に対する理解	解をよ	り深める.				
受業の進む	め方・方法		の内容は学習・教育到達目標(A)<視野>及びJABEE基準1(2)(a)の項に相当する. 業計画」における「到達目標」は,この授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする							
注意点		達 1 0 対	目標の評価方法と基準>下記授業計画の を評価する. 授業計画の「到達目標」に 気法により60点以上の得点で目標の達 議員の評価方法および評価基準>中間もい 調とする. 再試験は原則として行わない 3得要件>与えられた課題, 提出物を全 いじめ要求される基礎知識の範囲>中国 -トなど>授業に関連した小テスト及び 毎回の授業分の予習をしたうえで, 積	関する重みは概ねが 成を確認する. 朝末試験を80%, て提出し、学業成績 語Iで学習した、ピ 課題(レポート等)を	り等と 提出物 で 6 C こ こ で ます.	し, 試験問 別, 小テス ) 点以上を V, 四声, 基	題とレポート課題のレベルは トを20%として,これらの平均値 <sup>。</sup> 取得すること. 基本文型.			
受業計画	<u> </u>	1	I							
	+	週	授業内容		過ごと	の到達目標	± K			
後期	3rdQ	1週	第六課 自分の趣味を表す「喜」の信問文			分の趣味を  および	言える。			
		2週	第六課 選択を表す「是」の使い方第七課 技術、技能を身についている	公前株督90 のかの助動詞「会	<ol> <li>選択疑問文を運用できる。</li> <li>自分の能力を述べられる。</li> </ol>					
		4週	」及び条件が整えているかの「能」の 第七課 能力を表す「能」及び場所を い方。	望く「在」の使 .	上記 3	4. 客観的な条件を表現できる。 上記3. 4 5. 助動詞「会」と「能」の使い分けができる。				
		5週	第七課 会話を練習する。第八課状態い方	を対策 「但」の体 ・	上記 5	: いまい 女」と「RE」の反い方がかてきる。 : 記5および 5. 「得」を使って、相手を褒めるすることができる				
		6週	第八課 主述述語文及び前置詞「跟」	の使い方	7.主 8.「	7. 主述述語文を理解でき、運用できる. 3. 「同じぐらい〜」という表現ができる。				
		7週	プリントなどを使って、前期の内容を	復習する。	上記1	~8				
		8週	中間試験		これま	 でに学習し	た内容を理解し,運用できる.			
		9週	第九課 時間を表す言葉及び経験を表。	ます「」の使い方	9. 時	間を表す表	表現をしっかり身につける。 後を表現できる。			
	4thQ	10週	・ 第九課 願望を表す助動詞「想」の何 ね方	い方。動詞の重	上記9,10および 11.自分の願望が表現できる。					
		11週	プリントなどを使って、時刻を表すま		上記9~11およびリスニングを強化する。 13. 副詞「才」「就」の使い方を理解し,運用できる。					

12週 第十課 時間量を表す言葉、および動作の完了を表す   1.2. 「時間量)と「時点」の違い   1.3. 動詞の過去形を理解、運用できる。												
13週   グを練習する   1 4. 争態の変化を相手に伝えられる。			12週	第十課 時間量を表す言葉、および動作の完了を表す 1 「了」の使い方 1			12. 「時間量」と「時点」の違い 13. 動詞の過去形を理解、運用できる。					
14週   常芸寿「保図の時はか、含え方及の動作、行為の連行 できる。 16. 現在進行形が理解、運用できる。 27. 世界の対象 22. 世界の様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に 23. 世界のよどの事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3. 世界の対象を自分に対象を自分に対象を自分に対象を自分に対象を記述できる。 3. 世界の対象を記述できる。 16. 現在進行形が理解、運用できる。 3. 世界の対象を自分に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対			13週				14. 事態の変化を相手に伝えられる。					
16週			14週	第十課 原因の尋ねを表す「在」の使(		ね方、答え方及び動作、行為の進行 い方。		できる。			えることが	
16週     16週			15週	プリン								
分類         学習内容         学習内容の到達目標         到達レベル 授業週           基礎的能力         工学基礎         グローバリ 投票文化多文化理解         グローバリ 投票文化多文化理解         グローバリ 表文化要解 変さが必要であることを認識している。 様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に 力いて説明できる。 異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。         3         3           分野横断的能力         汎用的技能         汎用的技能         日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。 他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で する。。 他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。         3         3           他者が話す日本語や特定の外国語できる。 旧本語と特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させ ることができる。 円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。 円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 すった)ができる(相 すった)ができる(相 すった)ができる(相 すった)ができる。         3         1           評価割合         課題・小テスト         合計           総合評価割合         20         100		16週										
分類         学習内容         学習内容の到達目標         到達レベル 授業週           基礎的能力         工学基礎         グローバリ 投票文化多文化理解         グローバリ 投票文化多文化理解         グローバリ 表文化要解 変さが必要であることを認識している。 様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に 力いて説明できる。 異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。         3         3           分野横断的能力         汎用的技能         汎用的技能         日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。 他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で する。。 他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。         3         3           他者が話す日本語や特定の外国語できる。 旧本語と特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させ ることができる。 円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。 円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 すった)ができる(相 すった)ができる(相 すった)ができる(相 すった)ができる。         3         1           評価割合         課題・小テスト         合計           総合評価割合         20         100	モデルコフ	フカリキ	ュラムの		内容と到達	 :目標		•				
基礎的能力       工学基礎       グローバリゼーション・文化理解       グローバリゼーション・文化理解       様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に 3 まないて説明できる。 3 まないて説明できる。 3 まないて説明できる。 3 まないて説明できる。 3 まないて説明できる。 3 まないできる。 4 性者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語である。 4 性者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語である。 4 性者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語である。 4 性者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。 3 生活や特定の外国語である。 3 生活や特定の外国語であるとができる。 3 生活や特定の外国語であるとができる。 3 生活や特定の外国語であるとができる。 3 生活を対象であるとができる。 3 生活を対象であるとのからいて、 3 生活を対象であるととを記述できる。 3 生活を対象であるとのからいできる。 3 生活を対象に対象を対象を表現して、 3 生活を対象を表現して、 4 生活を対象を表現して、 4 生活を対象を表現して、 4 生活を対象を表現して、 4 生活を対象を表現して、 4 生活を対象を表現して、 4 生活を表現して、 4 生活を対象を表現して、 4 生活を表現して、 4 生活を表現るよりますなどのでは、 4 生活					I		  標			到達レベル	授業週	
・異文化多文化理解       ・異文化多文化理解       ・異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。       3         日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。       3         分野横断的能力       汎用的技能       汎用的技能       ・異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。       3         一位者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語できる。他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。他者が話す日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相方も、経行を表する。日本語と対象を記述できる。中滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相方も、経行を表する。日本語と対象を記述できる。中滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相方も、経行を表する。中滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相方も、経行を表する。中滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相方も、経行を表する。中間を表する。またができる(相方も、経行を表する。中間を表する。またができる(相方も、経行を表する。またができる(相方も、経行を表する。またができる(相方も、経行を表する。またができる(相方も、経行を表する。またができる(相方も、経行を表する。またができる。またができる(相方も、経行を表する。またができる(相方も、経行を表する。またができる。ま			グロー	ョン 化多	・ ゼーション ・ ・ 異文化多				3			
分野横断的 能力       川用的技能       川用的技能	基礎的能力	工学基礎	・異文			様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。			3			
			7104	:/7+		異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。			3			
分野横断的 能力       汎用的技能       ボル用的技能       正しい文章を記述できる。 他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。 日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。 円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。 円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相つうち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。       3         評価割合					: 汎用的技能 .	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。			3			
分野横断的 能力       汎用的技能       汎用的技能       汎用的技能       汎用的技能       汎用的技能       IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII									3			
	/ \ m \ + + + +   \ / \ h \ / \					他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。			3			
円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 3		汎用的技能	能 汎用的	技能					3			
評価割合     試験     課題・小テスト     合計       総合評価割合     20     100						円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。			3			
試験課題・小テスト合計総合評価割合8020100						円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。			3			
試験課題・小テスト合計総合評価割合8020100	評価割合		-									
	試験						課題・小テスト	・小テスト 合計				
配点 80 20 100	総合評価割合				)		20	100				
100	配点	配点				80			100			